

DIGITAL コーラス愛知

2025/8/1
発行
第5号
愛知県合唱連盟

♪ 愛知県合唱連盟 第64回愛知県合唱祭 第48回全日本おかあさんコーラス愛知県大会～女声合唱の祭典～ 2025年6月7日(土)・8日(日) 名古屋文理大学文化フォーラム



第64回愛知県合唱祭は、名古屋文理大学文化フォーラムに、110団体3000人が集まり、各団の個性あふれる演奏を披露。互いに感想を書き合ったり、ブロックごとに全員合唱の練習や本番を通じて音楽での交流を図ったりしました。山脇卓也氏によるワークショップやワンポイントレッスンも復活、ホールの改修やコロナ禍を経て6年ぶりの完全開催に、お客さまも多数来場され盛会となりました。

2日間の合唱祭のトップバッターをかざったのは「少年少女 地球組」の皆さん。学校も年齢もバラバラ、障がいがあっても無くても、様々な個性をすべてまとめて「友情と平和のハーモニー」

を届ける活動をされています。コロナ禍を経て昨年より出演を再開。今回は赤と緑の衣装で振付けを交えて明るい曲が歌われ、自然と湧き上がった手拍子に会場は一気に盛り上がり、幕開けにふさわしいステージとなりました。

130人を誇る「名古屋市民コーラス」の皆さん。日本を代表するシンガーソングライターのひとり、笠木透の「わが大地のうた」を混声4部合唱編成版（1984年委嘱）で披露されました。ノスタルジックなサウンドを懐かしく聴かせていただきましたが、編曲者名には佐々木伸尚先生のお名前が…。

全国的に愛唱歌として広まっている「夜のうた」は、佐々木先生の代表作。私たちも合唱祭ブロック合同演奏曲として歌い続けています。しかし、残念なことにこの4月にお亡くなりになりました。先生は名古屋学院中学校・高等学校グリークラブを指導され、当連盟では1966年から理事、その後8年間は副理事長として活動を支援してくださいました。

享年90歳。音楽界への多大なる貢献に感謝するとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。



♪ 全員合唱

毎年、各ブロックの最後に歌う全員合唱の指導を出演団体の指揮者、ピアニストの方をお願いしています。日頃、それぞれの団で取り組んでいるウォーミングアップの体操や発声方法を教えていただきました。また、その日出会った合唱仲間同士、「お互いによかったことを褒め合いましょう」と交流の機会を設けるなど、それぞれ工夫された20分間でした。ご指導いただいた指揮者、ピアニストの先生方ありがとうございました。

♪ 第1日目

	曲 名	指揮者	ピアノ
A	大切なもの	宮田 郁也	下山麻衣子
B	大切なもの	浅田龍之介	渡邊 俊太
C	いつまでも いつまでも	水野 麻美	上原 実和
D	大地讃頌	河辺 泰宏	渡部 真理
E	音楽の木	山本 高栄	
J	大切なもの	山脇 卓也	水野 みか
K	いつまでも いつまでも	荻野砂和子	船橋 綾乃
L	夜のうた	茶谷 礼子	家田 智恵



♪ 第2日目

	曲 名	指揮者	ピアノ
朝	翼をください	山脇 卓也	水野 みか
F	夜のうた	山田 歩美	岩下 奈未
G	いつまでも いつまでも	白鳥 清子	山本 春果
HI	音楽の木	高橋 寛樹	
M	夜のうた	田舎片雄貴	
N	いつまでも いつまでも	河辺 泰宏	船橋 綾乃



J、Mブロックでは指揮者の先生の声かけで全員がステージに上がり、歌い合わせて、まるでワークショップのような楽しい時間を過ごすことができました。



☆Jブロック ～山脇先生と舞台上で～



☆Mブロックも舞台上で全員合唱！！



◇「いつまでも いつまでも」(合唱連盟創立50周年に新実徳英氏に委嘱)

Nブロックの河辺理事長の指導では、「ゆっくりとしたテンポで歌ってほしい」。その理由として、24歳で亡くなった立原道造の現実(東大建築科卒、優秀な学生、肺を患い療養生活)と、彼が描いた架空の物語の主人公の男女とをリンクさせた歌詞の解釈をお話いただきました。その後は、見違えるようにしっとりとした表現に激変し、作者の思いに迫る演奏となりました。

◇「音楽の木」(合唱連盟創立60周年になかにしあかね氏に委嘱)

H I ブロックの高橋寛樹さんの指導では、「使用されている強弱記号がppp~mf。人に高らかに伝え歌うというよりは、自分自身に語りかける曲。メロディーパートは大きな流れのまとまりを感じながら、その他のパートとの絶妙のバランスで…」など、弱音のよさに磨きをかけることを提案されました。その後の表現は、美しく心に染み入る演奏となりました。こんなお話が聞けたり表現方法の提案をしていただけたりするの、この時間の魅力ですね。

(文責:長谷正子)



♪ 山脇卓也先生からのメッセージ

愛知県合唱祭に講師として参加し、素晴らしい演奏と出会い楽しい時間を過ごしました。3会場を活用した充実の運営のもと、ワンポイントレッスンやワークショップなど、合唱祭ならではの貴重な取り組みにも感銘を受けました。

混声ワークショップでは信長貴富さんの「ボクはウタ」を皆さんが熱く歌い上げてくださり、ワンポイントレッスンでは短時間ながら各団の魅力を引き出すお手伝いのできたことを嬉しく思います。ありがとうございました。



☆混声ワークショップ 「ボクはウタ」指揮 山脇卓也 ピアノ 水野みか

♪ ワンポイントレッスン

特別企画のひとつとして、小ホールでは、講師の山脇先生から30分間、直接レッスンを受ける「ワンポイントレッスン」が行われました。以下の5団体が、7月のおかあさん中部大会や8月の県コンクールに向けて、団の持ち味や曲の特徴を生かした演奏に仕上げていくためのアドバイスをいただくことができ、実りのある時間となりました。



1日目 6月7日(土) 12:10～13:15

名古屋市立滝ノ水中学校合唱部	河童と蛙(湯山昭)、いざ起て戦人よ(J.McGranahan)
桜花学園高等学校合唱団	落葉松(小林秀雄)



2日目 6月8日(日) 12:40～14:20

コール リリアス	しま馬(新実徳英)、天の火(信長貴富)
VOCI BRILLANTI	かつて私は信じていた「世界恋愛詩集」から(平木悟)
合唱団うしろろ	大地の踊り(宮本正太郎)

♪ 第48回 全日本おかあさんコーラス愛知県大会～女声合唱の祭典～



昨年、未加盟・初出場だった植田東エール合唱団が加盟し、合計6団体が出場しました。山脇先生には、出演団体への講評と全員合唱「翼をください」のご指導と指揮をしていただきました。

「翼をください」の全体練習の中で、「リズム年齢20歳で歌ってください」と指示され、その後、ご自分で20歳と60歳と100歳を歌い分けてくださったので、みんな納得しました。「翼」の「つ」は時間をかけて発音する、また、「かなしみのない」が「しみのない」にならないよう子音の強さに注意するなど、的確なアドバイスをいただきました。途中二人一組で聴き合って具体的に褒め合うという体験もあり、軽妙なトークを交えた楽しい全体練習でした。

出演団体への講評でも、「間の取り方や表情がイイ」「各パートに力がある」「アルト難しいのに……」、などたくさん褒めてくださいました。また、「テンポの変化をカギにしてドラマをつくっていく」「外国語っぽい響きにするには……」など、中部大会に向けてのアドバイスをいただくこともできました。



♪ 山脇語録

「この詩が大好きなんです」
 「3曲目に全部持っていかれて楽しんじゃったので感想を覚えてません」
 「どうしてこんなに楽しいんでしょうか」
 「UFO楽しそうよかった」
 ……山脇先生のポジティブ基準は「楽しい」でした……

(文責:中村敬子)

♪ 第48回 全日本おかあさんコーラス中部支部大会～女声合唱の祭典～

2025年7月6日(日) 三重県文化会館大ホール(津市)

コール リリアス	ヴィーナス賞・中部代表
コーロ・ヴォーチェ	れんげ賞・特別賞
植田東エール合唱団	りんどう賞
コール・フリュッセ	じんぐうすぎ賞
白壁コーラス	じんぐうすぎ賞
コール・カンナ	はなしょうぶ賞

♪ 第48回 全日本おかあさんコーラス全国大会～女声合唱の祭典～

2025年8月23日(土)・24日(日) やまぎん県民ホール(山形市・山形県総合文化芸術館)

♪ 第65回 愛知県合唱祭

第49回 おかあさんコーラス愛知県大会～女声合唱の祭典～

2026年6月13日(土)、14日(日) 名古屋文理大学文化フォーラム

講師:三宅悠太先生(予定)

